

# WEALTH GROWTH「SAMURAI 25」

## 月間運用実績レポート（2025年11月）

### ■ 11月のパフォーマンス

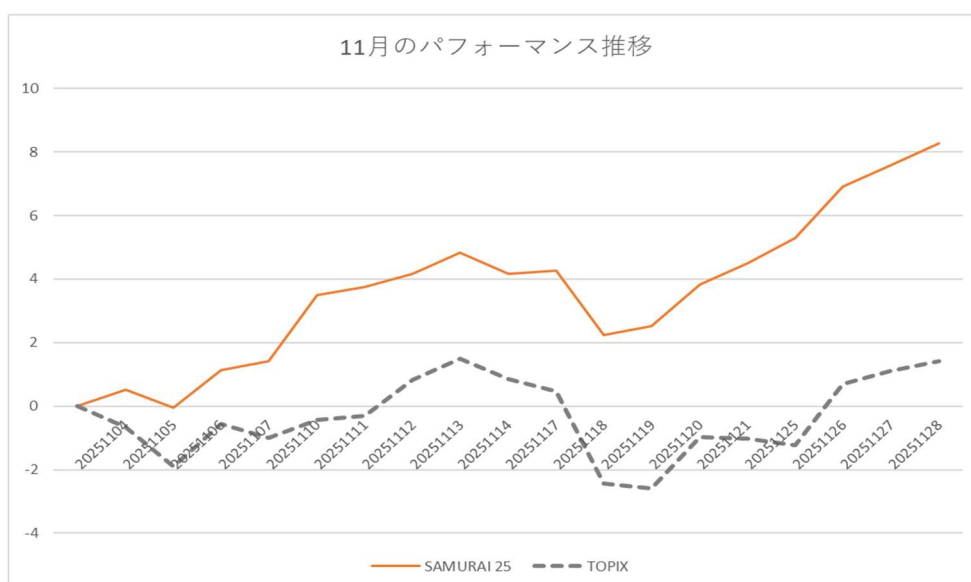
#### ➤ ファンドの月間パフォーマンス

SAMURAI 25	+8.28%
------------	--------

#### ➤ 各指標の月間騰落率

TOPIX	+1.40 %	(配当込み)	+1.42 %
日経225	△4.12 %		
NYダウ	+0.32 %		
S&P500	+0.13 %		
NASDAQ	△1.51 %		

#### ➤ 11月のパフォーマンス推移



	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	設定来
SAMURAI 25	8.28%	13.75%	35.31%	40.98%	185.12%
TOPIX	1.42%	10.92%	21.95%	29.17%	117.24%
超過収益	6.86%	2.83%	13.36%	11.82%	67.88%

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、買付手数料・運用手数料・税金・売買コスト等は含まれておりません。

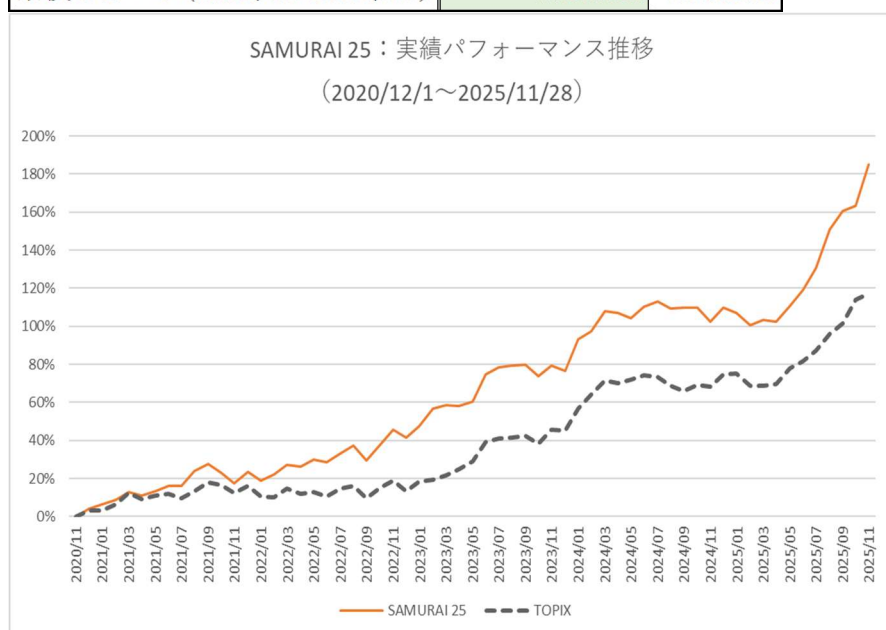
※実際にお客様へご提供したモデルポートフォリオをもとに、配当込みリターンを用いて算出しています。

**SAMURAI 25の11月の運用成績は+8.28%（配当込み）、TOPIX +1.42%（配当込み）、対ベンチマーク比で+6.86%となり、ベンチマークを大幅にアウトパフォーマンス！！**

➤ 設定来のパフォーマンス推移グラフ

SAMURAI 25の2020年12月1日（サービス開始）から2025年11月末までの運用実績です。

運用成績	SAMURAI 25	TOPIX
年間リターン(2021年)	18.73%	12.74%
年間リターン(2022年)	14.59%	-2.45%
年間リターン(2023年)	24.43%	28.26%
年間リターン(2024年)	18.72%	20.45%
年間リターン(2025年)	34.90%	24.18%
累積リターン(2020/12-2025/11)	185.12%	117.24%



※「SAMURAI 25」は、スマートプラスが提供する他の日本株投資一任運用サービスにおいて、すでに運用実績がある投資戦略に基づく運用手法をもとに開発した運用エンジン「+alpha japan」を搭載したサービスです。運用実績には、「+alpha japan」を採用した他の運用商品による2020年12月～2025年7月までの実績が含まれています。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、買付手数料・運用手数料・税金・売買コスト等は含まれておりません。

※実際にお客様へご提供したモデルポートフォリオをもとに、配当込みリターンを用いて算出しています。

## ■ 11月の市況概況

### ➤ 日本市場

11月の日本市場は、高市政権が掲げる大規模な経済対策実施への警戒感から財政規律リスクが意識され、国債・円・日本株が同時に売られる「トリプル安」の様相となりました。長期金利は約17年半ぶりの高水準に達し、円相場は一時158円に迫る場面も見られました。企業業績は円安の恩恵や価格転嫁の進展で底堅いものの、日中関係の悪化によるインバウンド需要の剥落懸念が相場の重石となりました。

#### ・第1週（11月4日～11月7日）／日経225：△4.07% TOPIX：△0.09%

高市政権の政策期待が先行していましたが、米国市場でのハイテク株の調整を受け、東京エレクトロンやアドバンテストなどの半導体関連株が売られ、日経平均は一時5万円を割り込みました。トヨタ自動車は通期見通しを上方修正したものの、トランプ関税の影響懸念などから株価の反応は鈍かった一方で、防衛関連やAIインフラ関連など、国策テーマ株への物色は継続しました。

#### ・第2週（11月10日～11月14日）／日経225：+0.20% TOPIX：+1.85%

ソフトバンクグループ（SBG）がOpenAI関連の評価益で四半期過去最高益を計上しましたが、株価の反応は複雑となりました。一方、金利上昇メリットを享受するメガバンクは揃って最高益を更新し、相場の下支え役となりました。

#### ・第3週（11月17日～11月21日）／日経225：△3.48% TOPIX：△1.85%

7-9月期GDP速報値は年率△1.8%と6期ぶりのマイナス成長となり、内需の弱さが露呈しました。さらに、高市総理の台湾有事に関する答弁に中国が強く反発し、訪日自粛要請や水産物輸入停止措置を示唆したことで、百貨店や資生堂などインバウンド関連株が急落しました。政府は21.3兆円規模の総合経済対策を閣議決定しました。財源の大半を国債増発に頼ることから財政規律への懸念が台頭し、10年債利回りは一時1.835%まで急騰、これに伴い円相場は一時157円台後半まで下落し、財務相が介入を示唆する事態となりました。

#### ・第4週（11月25日～11月28日）／日経225：+3.35% TOPIX：+2.45%

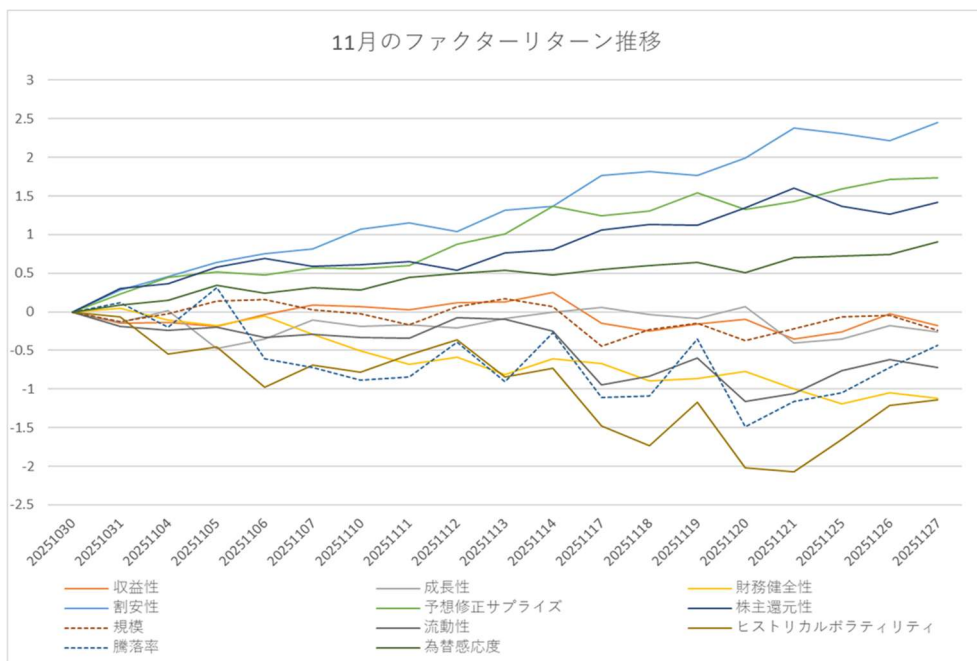
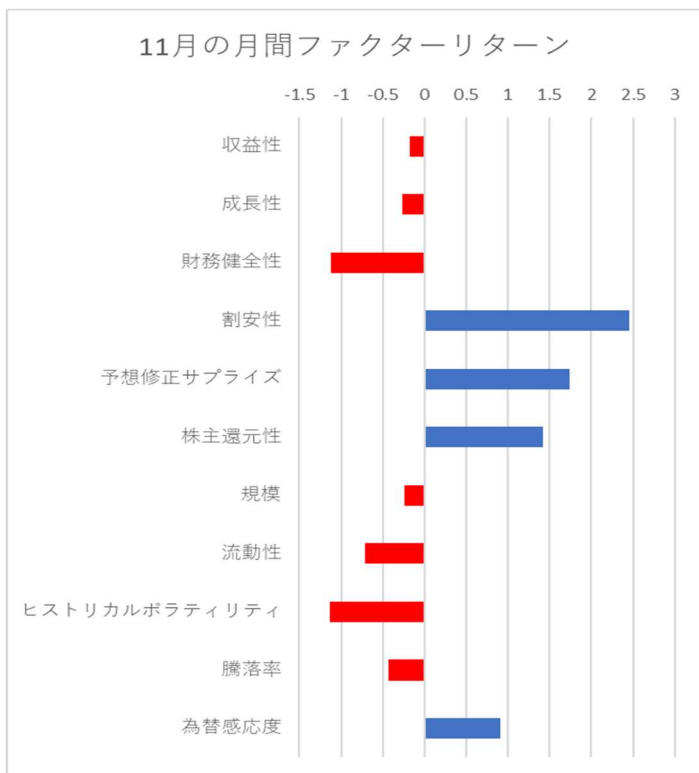
10月のCPI（消費者物価指数）は+3.0%、東京都区部のCPIも上昇、未だにインフレ圧力が継続するなか、日銀審議委員からのタカ派発言を受け、12月の金融政策決定会合での利上げ織り込みが進み、銀行株などが買われました。一方で、Googleの「Gemini 3」発表を受けたAI勢力図の変化への警戒感から、ソフトバンクGなどが売られるも、米国株高を好感しハイテク株を中心に買い戻しが入ったほか、円安一服感が相場を安定させました。市場の関心は、春闘に向けた賃上げ動向と日銀の政策変更のタイミングに移りつつあります。

# 月間パフォーマンスの背景

## ➤ ファクター動向

11月は、出遅れ傾向にあった好業績の小型バリュー株が堅調となりました。

ファクターの推移を見ても、割安性ファクター・予想修正サプライズファクター・株主還元性ファクターが大きくプラスとなる一方で、規模ファクター・騰落率ファクターがマイナスとなり、10月は高市政権への期待から日本株買いが活発化し高い流動性を求める市況環境となりましたが、11月に入ると一転、出遅れていた好業績の小型バリュー株へ資金が向かったことが見て取れます。



➤ ファクター寄与度

その様な市況環境のなか、SAMURAI 25は、市場平均であるTOPIXを大きくアウトパフォームする結果となりました。

SAMURAI 25がTOPIXをアウトパフォームした要因は、SAMURAI 25が持つバリュー要素の「割安・高配当」特性が大きくプラスに寄与、さらに、市場平均よりもオーバーウエートしている予想修正サプライズファクター及びアンダーウエイトしているヒストリカルボラティリティファクターも大きくプラスに寄与したことです。

10月は、価格変動の大きな大型・値嵩株が強烈に市場を牽引する展開となりましたが、11月に入ると一転し、流動性重視の買いによる急上昇の反動から、逆にそれらが大きく売られる展開が月末まで継続しました。

一方、ファンダメンタルズを重視した、本質を見極める冷静な資金によって、好業績でありながらも割安に置かれていた銘柄群が買われる展開となりました。

日本市場は好業績の銘柄も多く、また、株主還元を重視する動きも継続しており、来年3月の決算期に向けて、好業績の割安・高配当銘柄への期待がさらに高まるのではないのでしょうか。

➤ 個別銘柄寄与度

寄与度上位5銘柄

No	銘柄コード	銘柄名	組入比率	寄与度
1	8515	アイフル株式会社	6.7%	0.87%
<p>消費者金融事業を主軸とし、事業者向け金融、クレジットカード事業なども展開しています。安定した顧客基盤と審査体制により堅実な収益を上げています。また、海外事業や保証事業の強化も進めており、事業の多角化や、安定した収益基盤、金融規制への適切な対応が評価されています。</p>				
2	6941	山一電機株式会社	3.3%	0.85%
<p>半導体製造装置で使用するICソケットやコネクタなどの電子部品の開発・製造・販売を行っており、特に半導体のテスト工程に不可欠なICテストソケットで高い技術力とシェアを持ちます。現在、次世代半導体やAI関連の需要取り込みに注力しており、長期的な半導体需要の増加を見据え、生産体制の強化も進めています。半導体市場の回復サイクルと、同社の持つ高い技術力、市場シェアが投資家から非常に高い評価を受けています。</p>				
3	5076	インフラリア・ホールディングス株式会社	4.2%	0.78%
<p>前田建設工業を中核とする総合インフラサービスグループの持株会社です。建設、総合インフラサービス（インフラ運営・維持管理など）、その他事業（不動産、エネルギーなど）を展開しています。国内インフラの老朽化対策や再生可能エネルギー関連の需要取り込みに注力しており、また、中長期的な成長戦略として、建設と運営・維持管理を一体的に行うビジネスモデルを推進しています。投資家からは、インフラ事業の安定性や、事業多角化の取り組みが評価されています。</p>				
4	4503	アステラス製薬株式会社	4.8%	0.71%
<p>大手製薬会社の一つで、医薬品の研究開発、製造、販売を行っています。特にがん領域や泌尿器領域などに強みを持っています。主力製品の特許切れや競争激化のリスクがあるなか、果敢に新規パイプライン（開発中の新薬）の創出と成長分野への投資を加速しています。</p>				
5	4023	クレハ	6.2%	0.44%
<p>高機能樹脂、医薬品、農業化学品、炭素製品、環境関連製品など、幅広い分野で独自の技術を用いた製品を製造・販売している化学メーカーです。特にリチウムイオン電池向けの高機能バインダーや高機能漁網に強みを持っています。EV市場の拡大に伴い、リチウムイオン電池材料の需要が増加しており、設備投資を積極的に行っています。原材料・燃料価格の変動や為替の影響を受けながらも、収益性の高い高機能製品の販売を強化しています。電気自動車（EV）関連市場での成長期待や、独自の高機能製品による高い競争力が投資家から高い評価を受けています。</p>				

## ■ SAMURAI 25の目的・特色

### 1. 目的

予測が困難な市場構造の変化（金利・為替などの外部要因）の影響を極力排除し、TOPIXを凌駕するパフォーマンスを目指します。

### 2. 戦略の特色

特色 1：市場構造の予測を必要としない、全てのレジームで機能する汎用性の高いマルチファクターモデルによるクオンツ運用を行います。

特色 2：東証プライム市場に上場する約1,600銘柄の詳細な市場及び財務データを活用します。

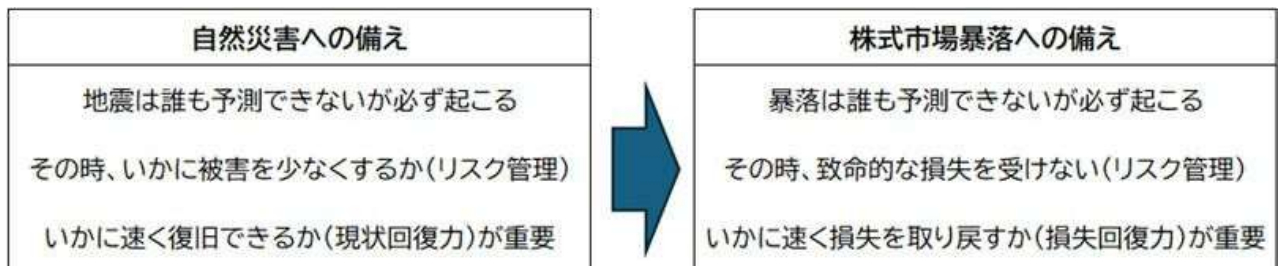
特色 3：銘柄選択において、「高収益・高成長」×「財務健全」×「割安・高配当」×「好業績」のバランスの良いモデルを活用します。

特色 4：組入れ銘柄数は20～25銘柄程度の集中投資、業種分散は市場構成比並みとし、リスクはTOPIX±15%程度となるよう毎月リスク調整のリバランスを行います。

### 3. 戦略のコンセプト

#### ・SAMURAI 25のコンセプトは、誰もできない将来の予測よりも、

「リスク管理と損失回復力を重視した運用で資産を成長させる」ことにあります。



#### ・損失の回復力が運用にとって極めて重要な理由は、

「損失よりも、利益が大きい投資」を続けていけば、いずれ利益が損失を上回る確率が高い運用となるためです。

#### ・回復力を示す運用指標ソルティノ・レシオ※を最大化

ソルティノ・レシオの最大化のために、AI にファクターの組み合わせを見つけ出させた結果、下記が、市況の予測を必要とせず、全ての市況で機能することが分かりました。

※ソルティノ・レシオとは、リターンの方リスクのみの標準偏差を利用し損失のみに注目して効率を評価する尺度です。計算式は、年率換算リターン／年率換算下方リスク。

「高収益・高成長」×「財務健全」×「割安・高配当」×「好業績」

#### 4. ファクターの説明

SAMURAI 25は、ファクターに基づく運用を行っており、ファクターは以下を採用しています。

	ファクター	代表的ファクター構成指標
1	収益性	売上高営業利益率、ROE、ROA、等
2	成長性	売上高成長率、経常利益成長率、等
3	財務健全性	財務レバレッジ、CF負債比、等
4	割安性	経常利益株価比、自己資本株価比、等
5	予想修正サプライズ	経常利益修正率、等
6	株主還元性	配当利回り、等
7	規模	上場時価総額、等
8	流動性	売買代金20日平均、等
9	ヒストリカルボラティリティ	ヒストリカルボラティリティ60日、等
10	騰落率	60日騰落率、等
11	為替感応度	ドル円に対する感応度

#### 5. リスク管理

SAMURAI 25は、回復力が高いポートフォリオを構築する際の最適化条件として、

- ① 銘柄数を、20～25 銘柄としています
- ② 1 銘柄、10%以上保有しないようにしています
- ③ 特定業種に偏重しないようにしています
- ④ 上記の様な、十分なリスク分散を考慮した上で、損失回復力が最大となるよう、AI による最適化を行っています
- ⑤ また、エクスポージャーを監視し、ポートフォリオのリスク特性を維持するよう、定期的に関りバランスを行いリスク管理を行っています

以上

※本レポートは、2025年 12月3日時点の情報に基づき作成されております。

(提供：株式会社スマートプラス)

## 免責事項

### ご留意事項

「WEALTH GROWTH」は、株式会社スマートプラスが提供する投資一任運用サービスです。Jトラストグローバル証券株式会社は「WEALTH GROWTH」の業務委託先として、お客様と株式会社スマートプラスとで交わす投資一任契約締結の媒介を行っております。

「WEALTH GROWTH」へのお申込、契約、お取引に関するお客様の情報に関して、株式会社スマートプラスより当社は媒介業務の範囲で業務委託先として個人情報の共有を受けております。

#### <業務内容について>

Jトラストグローバル証券株式会社は、本サービスにおける株式会社スマートプラスとお客様との間の投資一任契約の締結に係る媒介を行う役割を担い、以下の業務を行います。株式会社スマートプラスは、投資運用業を行う役割を担い、以下の業務を行います。

#### 【Jトラストグローバル証券株式会社】

- 対面または電話等による投資一任契約等および投資一任サービスの内容の説明や契約締結の媒介に係る勧誘
- 口座開設画面や投資一任運用サービス画面への誘導・操作の案内
- 入金状況・取引状況に関するお客さまから照会への対応
- 株式会社スマートプラスからお客さまに提供される各種報告書等に関するお客さまからの照会への対応
- 株式会社スマートプラスから提供されると投資一任運用サービスに係るシステム等を経由して取得可能な情報に基づくお客さまからの照会等への対応（入出金日、取引日、個別銘柄の売買内容等）
- 投資一任運用サービスに基づきお客さまに提供されるポートフォリオのパフォーマンス、組入銘柄の内容やパフォーマンス等に関する客観的な情報等の提供

#### 【株式会社スマートプラス】

- 投資一任契約の説明および締結（契約締結前書面、契約締結時書面の交付）
- 入出金に係る手続き
- 投資一任運用サービスに係る運用ポートフォリオの構築・リバランスに係る売買の執行
- 取引および残高に係る報告および運用に係る報告

### 重要事項

#### <手数料など諸費用について>

「WEALTH GROWTH」をお客様が利用するに当たり、以下の手数料を負担していただきます。詳細は、株式会社スマートプラスが電磁的方法等によりする契約締結前交付書面等にてご確認ください。

- 購入時手数料（運用コース増額申込時に、増額金額に対して負担していただく費用です。投資環境の説明や情報提供等、ならびに契約締結に必要な事務コストの対価としてお支払いいただく費用となり、業務委託を行っている場合、株式会社スマートプラスから業務委託先に支払う費用が含まれます。）

- サービス利用料（運用資産の時価評価額に対し負担していただく費用です。ポートフォリオのリバランス（銘柄の入れ替え等）、各種レポートや報告書の作成等、およびシステム運営等に必要コストの対価としてお支払いいただく費用となります。）

#### <投資一任契約（ウェルスグロス）に係るリスクについて>

本サービスにおける投資一任契約に基づく運用は、値動きのある有価証券（米国株式または日本株式の個別銘柄）を投資対象としているため、当該有価証券の上場市場における取引価格の変動や為替の変動等により運用資産の価値が変動します。従って、本サービスは投資元本が保証されるものではなく、投資一任契約に基づきお客様からお預かりした資産の当初の評価額（投資元本）を下回ることがあります。本サービスにおける主なリスクは以下のとおりです。ご契約に当たっては契約締結前交付書面をよくご確認ください。

#### 【相場変動リスク】

お客様が所有するポートフォリオを構成する米国または日本の上場株式（コースにより異なります。以下、「上場株式」という。）は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動に伴い価格が変動します。本サービスは、その影響を受けてお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。

#### 【信用リスク】

お客様が所有するポートフォリオを構成する上場株式の発行者などの信用状況に変化が生じた場合、当該上場株式の市場価格が変動することによってお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。

#### 【流動性リスク】

上場株式は、市場環境の変化等により取引に支障をきたし、売却できない場合があります。本サービスはその影響を受けて換金できないリスクがあります。

#### 【カントリーリスク】

通貨を発行する国家固有の政治的・経済的な変動等により投資元本を割込んだり、途中売却が困難になる可能性があります。また、政府等による突発的な取引規制が行われた場合、円を含む他通貨への交換に影響がでる可能性があります。

#### 【為替リスク】（米国株式コースおよび米ドル預かり金のみ）

本サービスにおける投資一任契約に基づき投資運用される米国上場株式および米ドル預かり金（以下、「米国上場株式等」という。）は、為替相場（円貨と外貨の交換比率）が変化することにより、為替相場が円高になる過程では円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では円貨換算した価値は上昇します。したがって、お客様が所有するポートフォリオを構成する米国上場株式等の日々の円貨換算の時価評価時および売却時の為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。本サービスは、その影響を受けてお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。また、本サービスにおける各種手数料等の費用の徴収に伴い為替取引を行う際に、為替相場の変動により円貨換算した費用の額は変動します。

<p>【投資一任契約の媒介業者】</p>  <p>Jトラストグローバル証券株式会社          金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第35号          加入協会／ 日本証券業協会          一般社団法人日本投資顧問業協会</p>	<p>【口座管理機関】</p>  <p>株式会社スマートプラス          金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3031号          加入協会／ 日本証券業協会          一般社団法人日本投資顧問業協会          一般社団法人第二種金融商品取引業協会</p>
---	---